

## 現代中国語の方位詞“上、下、前、后” の時間的用法について

寺澤 知美

### 1. はじめに

空間を表す語が時間を表す表現にも用いられる場合があるが、このような現象は世界中の言語にみられ、現代中国語においても空間と時間の両方を表すのに用いられる方位詞が存在する。例えば、《現代汉语八百词》によれば、方位詞“上”は「位置が高い」ことを表すが、空間的位置関係だけでなく、“上半个月”[月の前半]のように、“半”と共起して「ある時間(期間)の前半」を表すことも可能である。

また、「月の前半」を表す表現には“上半个月”だけでなく、“前半个月”も用いられるように、“前”も時間的表現に多用される方位詞の一つである。この“前”を用いた時間的表現の一つに“前两天”[二、三日前]があるが、この場合“两”を他の数字に置き換えて“\*前三天”や“\*前四天”とすることはできず<sup>1</sup>、「三日前」、「四日前」を表すには“三天前”、“四天前”のように“前”を後置させる必要がある。しかし、例えば次の例(1)の“前三个月”のように、「ここ三ヶ月」という【時量】を表す場合については成立する。

(1) 前三个月我去了北京<sup>2</sup>。[ここ三ヶ月私は北京に行っていた。] (作例)

さらに、先行研究にも指摘があるように、[+過程]の特徴をもつ語が「“前/后”+数量詞」に前置される場合、多義が生じる。例えば、“开会前半个小时”の場合、「会議開始前の30分」と「会議開始後の30分」の二つの解釈が可能である。ところが、“睡觉前半个小时”の場合、「眠り始めてから30分」という意味よりも「眠る30分前」として理解されやすくなる。本稿では、このような時間表現に用いられる方位詞“上、下、前、后”の用法について、統語的及び意味的観点から考察する。

## 2. “上”、“下”の時間的用法

前述のように、方位詞“上”は“半”と共起して「ある時間(期間)の前半」を表したり(“上半个月”)、或いは“上星期二”のように「過ぎ去った時間」を表したりすることが可能である。“上”の時間的用法については、以下のように分類することができる。

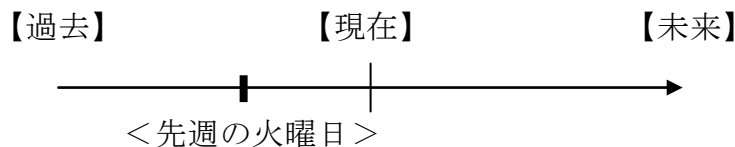
- ① ある時間(期間)の前半(“半”と共起)(例：“上半年”[一年の前半])

<1年>

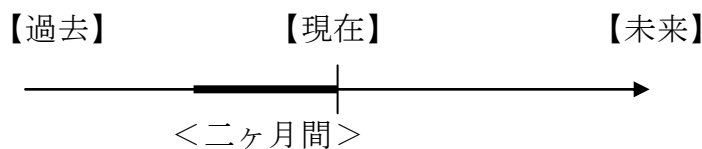


<一年の前半>

- ② 過ぎ去った時間 a (例：“上星期二”[先週の火曜日])



- ③ 過ぎ去った時間 b (例：“上两个月”[ここ二ヶ月])



まず、「①ある時間(期間)の前半」とは、“上半年”のように“半”と共起してある時間(期間)を半分に分けた前半を指す。この用法に属する表現には、“上半年”の他に“上半夜”[夜の前半]、“上半天”[一日の前半=午前]、“上半(个月)”[月の前半]、“上半晌”[午前]、“上半期”[上半期]などがある<sup>3</sup>。

一方、「過ぎ去った時間」を表す用法については、②の例“上星期二”のように、過ぎ去ったある一点の時間(【時点】)を表す場合と、③の例“上两个月”のように、過ぎ去った時間を幅(【時量】)として捉える場合がある。

なお、“上”と対をなす方位詞“下”についても、“下半(个月)”[月の後半]のような「ある時間(期間)の後半」を表す表現や、“下星期三”[来週の水曜日]、“下两个月”[次の二ヶ月]のような「将来の時間」を指す表現がある。

### 3. “前”、“后”の時間的用法

次に、“前”の時間的用法についてみる。先に述べた“上”のもつ三つの時間的用法のうち、「①ある時間(期間)の前半」については、“前”にも同様の用法が存在し、“半”と共に“前半夜”、“前半天”、“前半(个月)”などのように用いることが可能である。但し、後にも述べるように、“前”の場合には次の例(2)のような「ある時間(期間)の初めの時間」を表す場合もある<sup>4</sup>。

- (2) 2002年9月，我工作了。前三个月试用期，每月只挣400元，住的是单位集体宿舍，租金每月200元。 出典：〈百度〉  
[2002年9月、私は仕事を始めた。最初の三ヶ月の試用期間は、毎月400元しか稼げず、住んでいたのは勤務先の集合宿舎で、家賃は毎月200元だった。]

例(2)の“前三个月”は、仕事を始めて最初の三ヶ月間という期間を指している。つまり、“前”は“半”と共に「ある時間(期間)の前半」を表すことができただけでなく、「ある時間(期間)の初めの時間」についても表すことが可能であるといえる。

一方、「②過ぎ去った時間 a」の用法については、“上星期二”の“上”を“前”に置き換えて、“\*前星期二”のように表現することはできない。また、「③過ぎ去った時間 b」の用法については“前”にも同様の用法が存在するが、“上”とは異なる特徴もみられる。以下、“前”における「過ぎ去った時間」を表す用法について詳しくみていく。

第2節で示したように、“上”における「過ぎ去った時間 b」を表す用法とは、例えば“上两个月”のように【時量】を表すものを指す。このような用法については、“前”にも同様の用法がみられる。

- (3) 某IT公司的员工刘先生告诉记者，他前两个月一直在外地出差，几乎每天都从早上8点半忙到晚上11点，没有周六、周日，元旦也是在外地度过的，但是公司除了正常的工资，既没有加班费，也没有出差补助。

出典：〈人民网〉

[某IT会社の従業員劉さんが記者に語るところによると、彼はここ二ヶ月(ここ二、三ヶ月)ずっと地方に出張しており、ほぼ毎日朝8時半から夜11時まで忙しく働き、土、日はなく、元旦も外地で過ごしたが、会社は正規の給料以外に、残業代もくれなければ、出張補助もくれないそうである。]

また、“前”は次の例のように、【時点】を表すことも可能である。

- (4) 前两天，我收到了赵志诚的信。【時点】 (曾卓《梦境》<sup>5)</sup>)

[二、三日前、私は趙志誠の手紙を受け取った。]

上の例(4)は発話時から「二、三日前」という時間を一つの点(【時点】)として捉えて表現しているが、“前两天”は【時点】だけでなく、【時量】を表すことも可能である。

- (5) 前两天我一直在想一个问题,……【時量】 出典：<百度>

[ここ二、三日、私はずっとある一つの問題について考えている…]

例(5)は発話時を基準として、それをさかのぼる二、三日間という期間を表している。ここで注意すべき点は、“前两天”の“两”は任意の数字に置き換えることができないという点である。相原(1991:82-85)が指摘するように、“前两天”の“两”は「不確定なぼんやりした数」を表しており、“前两天”の“两”を入れ替えて、“\*前三天”や“\*前四天”のように用いることは出来ない。したがって、「三日前」や「四日前」の意味を表すには、“三天前”や“四天前”のように“前”を後置させる必要がある。

- (6) \*前三天，我收到了赵志诚的信。

- (7) 三天前，我收到了赵志诚的信。

[3日前、私は趙志誠の手紙を受け取った。]

但し、「ある時間(期間)の前半」を指す場合における“前两天”の“两”は不定数を表すものではないことから、“两”以外の数字に置き換えることも可能となる。

- (8a) 本次会议预计开4天，前两天为正式会议，后两天为非正式会晤。

(《人民日报》1994)

[今回の会議は4日間で、前半の二日間は公式会議、後半の二日間は非公式の会談となる見込みである。]

- (8b) 本次会议预计开6天，前三天为正式会议，后三天为非正式会晤。

さらに、基準時が明示される場合にも任意の数を入れることが可能となる。

- (9) 最晚到考试前三天应该将面试当天所穿衣服、鞋子等准备好,……

出典：<人民网>

[遅くとも試験の三日前までには面接当日に着用する衣服、靴などを準備しておくべきであり…]

例(9)の“考试前三天”は文脈から「試験の始まる三日前」を指していることは

明らかであるが、“考试前三天”という表現自体は多義性を有しており、「試験の最初の三日間」を指す場合もある。この点については、次の第4節で詳しく述べる。

以上のように、“前 N 天”によって「過ぎ去った時間」を表す場合には、特定の基準時を明示しない限り、基本的に“两”以外の数を用いることができない。しかし、第1節にも示したように、“前 N 个月”の場合には“两”以外の数を用いることが可能である。

(10) 前三个月我去了北京<sup>6</sup>。【時量】 (例(1)の再掲)

(11) 陶红还说，前三个月她没接戏，就是因为父亲生病了，……

出典：＜人民网＞

[陶紅はさらに語った。ここ三ヶ月彼女は芝居を受けていなかったが、それは彼女の父親が病気になり…]

上の例から明らかなように、“前三个月”については、基準時が明示されなくても「過ぎ去った時間」を指すことが可能である。但し、その場合に表現される内容は「三ヶ月前」という【時点】ではなく、「ここ三ヶ月」という【時量】となる。因って、「三ヶ月前」という【時点】を指すためには、やはり“三个月前”のように“前”を後置する必要がある。

(12) 三个月前我去了北京。[三ヶ月前私は北京に行った。]【時点】

また、例(10)、(11)のような【時量】を表す用法は、“前 N 个月”のみでなく、“前 N 个星期”や“前 N 年”にもみられる<sup>7</sup>。つまり、「過ぎ去った時間」を表す“前 N(个)星期/月/年”は、“N”に任意の数を入れて用いることが可能であり、その場合表される内容はいずれも発話時から「N 週間/月/年」をさかのぼった期間を指していることになる<sup>8</sup>。したがって、“前 N 天”だけが、他の“前 N(个)星期/月/年”の表現とは全く異なる様相を呈しているといえる。

以上の分析に基づき、“前”における時間的用法は、以下のようにまとめることができる。

A. 「“前” + 数量詞」

- ① ある時間(期間)の初め(前半)の時間(例(2)、(8))
- ② 過ぎ去った時間【時量】(例(1)、(3)、(5)、(11))
- ③ 過ぎ去った時間【時点】(例(4))

B. 「数量詞 + “前”」: ある時点より前(例(7)、(12))

一方、「后」＋数量詞の場合については、「后两年」[後の二年]や「后半年」[一年の後半]のように「ある時間(期間)の終わり(後半)の時間」を表すことは可能であるが、「前」の②や③に対応するような用法は存在しない<sup>9</sup>。但し、「数量詞＋“后”」については、「三天后」[三日後]のように「ある時点より後」を指すことが可能である。

以上のように、「后」に比べて「前」の方がより広く時間的表現に用いられているといえるが、一方で、「前/后」はいずれも「“前/后”＋数量詞」に名詞や動詞などの要素が前置された形式で用いることが可能である。以下、「N/V＋“前/后”＋数量詞」の表現における多義性についてみていく。

#### 4. 「N/V＋“前/后”＋数量詞」の表現について

張黎(1988: 23-24)は、以下に挙げるような[+過程]の特徴をもつ語が「“前/后”＋数量詞」に前置され、且つ数量詞によって表される時間が前置される「N/V」に関わる時間よりも短い場合、多義を生じる可能性があるとは指摘している。

【过程性名词】：手术、灾荒、宴会、节目、危机、电影、音乐会、球赛……

【过程动名词】：报告、洗澡、训练、讨论、战斗、调查、理发……

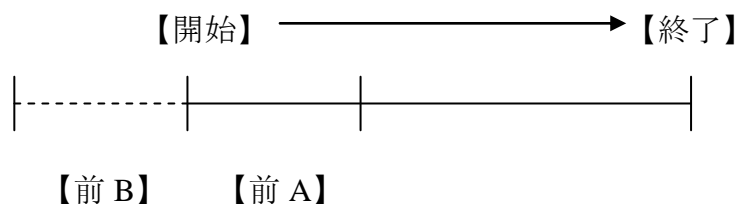
【过程动词及动词短语】：睡觉、开会、吃饭、比赛、劳动、工作……

上のような[+過程]の特徴をもつ語が前置される「N/V＋“前/后”＋数量詞」の表す多義性について、張黎(1988: 23-24)は以下のような具体例を挙げて説明している。

(13) 开会前一个小时→(13a) 开会/前一个小时 [會議開始後の1時間]

(13b) 开会前/一个小时 [會議開始前の1時間]

上の例(13a)は「會議」の「前の1時間」、すなわち會議開始後の1時間を指すのに対し、例(13b)は「會議前」の「1時間」、つまり會議開始前の1時間を指している。両者の違いは、「會議」という「一定の時間を要する出来事」について、前者が「出来事」そのものに焦点が置かれるのに対し、後者はその出来事の「開始」に焦点が置かれることにある。「N/V＋“前”＋数量詞」が表す二つの意味の時間軸上における位置関係は次のようになる。



[図 1]

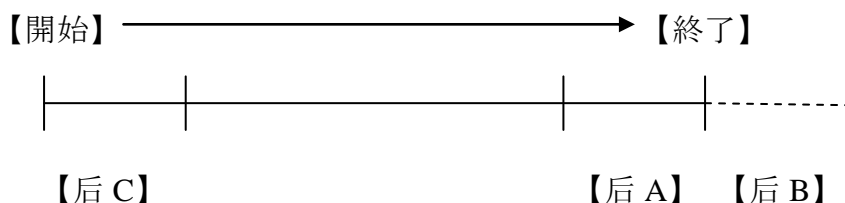
同様に、“后”の場合については、以下のような三つの意味をもつことが指摘されている(張黎 1988 : 23-24)。

(14) 开会后一个小时 → (14a) 开会/后一个小时 [会議の最後の 1 時間]

(14b) 开会后/一个小时 [会議終了後の 1 時間]

(14c) 开会(后)一个小时 [会議開始後の 1 時間]

例(14a)～(14c)はそれぞれ、「会議」という「ある一定の時間を要する出来事自体」(例(14a)/【后 A】)、「ある一定の時間を要する出来事の終了」(例(14b)/【后 B】)、「ある一定の時間を要する出来事の開始」(例(14c)/【后 C】)に焦点が置かれているといえる。



[図 2]

なお、上述の例(13a)と(14c)は結果的に「会議開始後の 1 時間」という同じ内容を表しているが、(13a)の“开会前一个小时”が表すのは、「会議の初めの 1 時間」であり、(14c)の“开会后一个小时”は「会議開始後の 1 時間」である。つまり、前者は「会議」という出来事そのものが対象となっているのに対し、後者は「会議」という出来事の開始に焦点が当てられているという違いがある。

以上のように、「N/V+“前/后”+数量詞」は多義性を有する表現であり、これらの表現が単独で用いられる場合には多義となる可能性が十分に存在するが、一方で、実際の言語運用においては、文脈や一般常識に基づく判断などから表される意味が限定されることが多い。

- (15) 比赛前 10 分钟，双方的进攻节奏都很快，但传球质量不高。

出典：＜人民网＞

[試合開始後 10 分、双方の攻撃リズムは早かったが、パスの質は高くなかった。]

- (16) 巴西主帅表示，这一次他将在比赛前 10 分钟再宣布出场名单。

出典：＜人民网＞

[ブラジルの監督は、今回彼が試合の 10 分前に出場メンバーを発表することを明らかにした。]

“比赛前 10 分钟”という表現は、上の例から明らかなように、文脈によって【前 A】(例(15))、【前 B】(例(16))の両方の意味として用いることが可能である。しかし、前置される要素、及び表される時間の長さの違いによっては、どちらか一方の意味に偏りがみられる場合もある。以下、具体例を挙げて「N/V + “前/后” + 数量詞」の表す多義性についてみていく。

まず“前”の場合、先の例(15)、(16)で取り上げた“比赛”のように【前 A】と【前 B】の両方の意味を表すものもあれば、次の例の“电影”の例のように【前 B】よりも【前 A】の意味として用いられやすいものもある。

- (17) 菲尔德无数次强调过剧本的前十页，也就是电影前十分钟。

出典：＜百度＞

[フィールドは何度も何度も脚本の最初の 10 ページを強調している。つまり映画の最初の 10 分間である。]

例(17)のように、“电影”の場合「ある一定の時間を要する出来事」として捉えられやすい傾向があり、【前 B】の意味を表す場合には、次の例のように何らかの動詞が加えられることが少なくない。

- (18) ……，将区司法局与区影视中心联合制作的普法专题片及中央台的《今日说法》节目，编辑成 10 分钟的短片，在放电影前 10 分钟播放，……。

出典：＜google＞

[区の司法局と区の映像センターが共同制作した法知識の普及をテーマにした作品及び中国中央テレビ局の番組《今日説法》を 10 分間の短編に編集し、映画を上映する 10 分前に放映し…]

例(18)では“电影前 10 分钟”の前に動詞“放”が加えられ、「映画を上映する前」の時間を表しているが、“放”のほかにも例えば動詞“看”を前置し、「映画を観る前」の時間を表すような場合もある。以上のことから、【前 B】を表す



ためには何らかの動的要素が含意される必要があるといえる。

一方、次の例の“手術”のように、【前 A】よりも【前 B】の意味として用いられやすいものもある。

(19) 手術前半个小时，邱勇教授接受本报记者采访时说，……

出典：＜百度＞

[手術の 30 分前、邱勇教授は本紙記者の取材を受けた際、次のように語った…]

“手術”の場合、文脈によっては【前 B】、【前 A】の両方の意味を表すことが可能であるが、例(19)のように【前 B】の「手術」が「始まる前の時間」を指すことが多い。なお、同様のパターンをとるものに“考试”も挙げられる。

また、“睡觉”についても【前 B】の意味として用いられやすい。

(20) 另外，失眠的时候，每天晚上睡觉前半小时喝一杯温热的牛奶可以使人的身心更加放松，有助于睡眠。

出典：＜人民网＞

[さらに、眠れない時は毎晩就寝 30 分前に一杯の暖かい牛乳を飲むと心身がリラックスして眠るのに役立ちます。]

例(20)は文脈からも明らかなように、【前 A】の「眠り始めてから 30 分」ではなく、【前 B】の「眠る 30 分前」の意味として理解される。

一方、次の例の“工作”の場合には表される時間の長さの違いにより、【前 A】と【前 B】のどちらの意味を表しやすいかの違いが生じる。

(21) 特别是新教师，工作前三年不能在自己住家附近所在地区的学校工作，……

出典：＜百度＞

[特に新任教師は、仕事を始めた最初の 3 年は自分が住んでいる所に近い地区の学校で仕事をしてはならない…]

(22) 一个良好的收银员应在每天工作前 10 分钟，准备以下几项：

出典：＜百度＞

[よいレジ係は毎日仕事の 10 分前に以下の項目について準備しておくべきである。]

上の例(21)の“工作前三年”のように比較的長い時間を表す場合、【前 B】の「仕事を始める 3 年前」ではなく、【前 A】の「仕事を始めてから 3 年」の意味で用いられやすい。しかし、例(22)の“工作前 10 分钟”のように短い時間を表す場合には「仕事を始める前」という【前 B】の意味として用いられやすくなる。つまり、“工作”の表す内容の違いによって、【前 A】、【前 B】のどちらの意味

を表しやすいかの違いが生じると考えられる。すなわち、例(22)の“工作”がいわゆる「日々の労働」を指す具体的なイメージを伴うものであるのに対し、例(21)の“工作”は「日々の労働」の積み重ねによる、より抽象度の高い概念を表す。つまり、具体的なイメージを伴う“工作”は、抽象度の高い“工作”よりも動的要素が強く、したがって、例(21)が【前 A】、例(22)が【前 B】の解釈に結びつくと考えられる。

次に、“后”の場合についてみる。前述のように“后”には【后 A】、【后 B】、【后 C】の三通りの意味を表す可能性があるが、例えば“电影”の場合、【后 B】や【后 C】よりも【后 A】を表すことが多い。これは、“前”の場合と同様に、“电影”が動的要素を含意しないことによると考えられる。一方、“手术”や“吃饭”の場合、【后 A】よりも【后 B】の意味で用いられやすくなるが、それはこれらの語には十分な動的要素が含まれていることによると考えられる。

(23) 手术后半个小时，小雪飞从麻醉中醒来，露出了可爱的笑容。

出典：＜百度＞

[手術終了後 30 分に、雪飛ちゃんは麻酔から目覚め、かわいらしい笑顔を見せた。]

(24) 一般餐后两小时时血糖是最高的，不要等血糖高了再去运动，吃饭后半个小时左右就开始运动，……

出典：＜百度＞

[一般的に食後二時間後に血糖が最も高くなるため、血糖値が高くなってから運動をするのではなく、食後 30 分前後で運動を開始し…]

一方、“睡觉”の場合には【后 C】として用いられやすくなる。

(25) 我家宝宝一岁零五个月，长期以来晚上睡觉后半个小时左右就会哭醒一次，……

出典：＜百度＞

[うちの子は一歳五ヶ月ですが、これまで長い間ずっと夜寝てから 30 分ほどで一度泣いて目を覚まします…]

例(25)の“睡觉后半个小时”は、【后 C】の「眠り始めてから 30 分」という意味を表している。先の第 3 節で取り上げたように、“睡觉”が“前”と共に起する場合、【前 B】の「眠る 30 分前」の意味として理解されやすく、【前 A】の「眠り始めてから 30 分」としては理解されにくい傾向がみられたが、「眠り始めてから 30 分」を指す場合には、例(25)のように“睡觉后”の表現が用いられることになる。

最後に、両者の使い分けによる効果の一例をみる。

(26) ……，为护送一名忘带身份证的考生，民警打开警灯、风驰电掣，终将考生在考试后十分钟送达考场。 出典：<百度>

[身分証を忘れた一人の受験生を護送するために、警官がランプをつけて飛ぶように車を走らせ、結局受験生を試験開始後 10 分に受験会場へと送り届けた。]

上の例の“考试后十分钟”は【后 C】の「試験開始後」の時間を表しているが、これを“考试前十分钟”に置き換えた場合には、【后 C】と同じ内容を表す【前 A】ではなく、【前 B】の意味として解釈され、「試験開始時間に間に合った」ことを表す。例(26)においては、“后”を用いることによって「試験開始時間の後に到着した」、すなわち「試験開始時間に間に合っていない」ということをより明確に示すことに成功しているといえよう。

## 5. おわりに

以上、現代中国語の方位詞“上、下、前、后”が時間的表現に用いられる場合、それぞれどのような意味を表すのかについてみてきた。その結果、まず“上/下”は“前/后”に比べ使用範囲が狭いことがわかった。これは、金子(2004: 371)が「善悪の概念をはじめとして、複数の概念に拡張されやすい『上下』の軸と、概念拡張の可能性が多く多くの言語で時間表現に限定される『前後』の軸」と言及しているように、中国語においても「上下」の軸よりも「前後」の軸の方がより広く時間表現に使用されることは自然であると考えられる。

また「N/V+“前/后”+数量詞」形式における多義性については、前置される要素の品詞のみで表される意味を確定することはできず、前置される要素のもつ働き、表される時間の長さ、前後関係など様々な要素によって決定されることがわかった。具体的には、“电影”のように動的要素に乏しい名詞が【前 B】を表すためには、何らかの動詞を加えることにより動的要素を付加する必要があるが、反対に、十分な動的要素をもつ“睡觉”のような動詞については、【前 A】の内容を表しにくくなる傾向がみられる。

### 注

- 1 但し、例(8b)のように「ある時間(期間)の前半 N 日間」として用いることは可能である(第3節を参照)。
- 2 “前三个月”は、例(1)に示したように「ここ三ヶ月」の意味を表すことが可能で

あるが、“前三个月”は「一年の最初の三ヶ月」、つまり「1月～3月」を指す場合もあり、用いられる状況により表される意味が異なる。

- 3 “[上/下/前/后]半(个)星期”については、インフォーマントによって許容度に揺れがみられる。しかし、“前/后半(个)星期”については、“上/下半(个)星期”に比べ許容度が高くなるようである。

……，这一周的天气可以用“前晴后雨”来概括，前半个星期全国不少地区都出现了高温天气，后半个星期全国大部分地区则笼罩着阴雨天气。

出典：＜百度＞

[この一週間の天気は「前半晴れで後半は雨」と総括することができる。週の前半は全国の多くの地域で高温の天気となり、週の後半は全国のほとんどの地域で陰雨に包まれた。]

また、同じく「週」を表す“周”を用いた表現についても、“～半(个)星期”に比べれば使用例は多くなるものの、“～半(个)月”や“～半年”などに比べ使用頻度はかなり低くなっている。

- 4 “上”についても同様の働きをする場合が全くみられないわけではないが、“前”に比べて使用頻度は低くなる。
- 5 以下、特に出典の示していないものについては、北京大学汉语语言研究中心のコーパス＜CCL 语料庫＞によるものであるとする。
- 6 前述のように、“上”についても、“上两个月”[ここ二ヶ月]のように【時量】を表す表現として用いられるが、“前”の場合とは異なり、この場合の“两”を“三”に置き換えて“上三个月”とすると違和感が生じるようである。また、“上”の場合、“上两个星期”や“上两个月”のようには用いられるが、“上两天”は用いられにくい傾向があり、“前”に比べて使用範囲が狭いといえる。
- 7 “前 N 个星期”及び“前 N 年”の用いられる具体的な例文には次のようなものが挙げられる。

- a. “前三个星期，我们练得非常系统。”孙海平说，“说实话，这次出征，比上次去洛桑时还踏实。”

出典：＜人民网＞

[「ここ三週間、私たちは非常に系統的に練習をしてきた。」孫海平は言う。「本当のところ、今回の遠征は前回のローザンヌの時よりも不安はない。」]

- b. 在进出口大幅度下降的情况下，第一季度 GDP 增长了 6.1%，与前五年比，看起来是最低的，其实是相当好的运行态势。

出典：＜人民网＞

[輸出入の大幅な下降状況において、第 1 四半期の GDP は 6.1%増加しており、ここ五年と比較すると、見たところ最低のようであるが、実際にはかなり良好な運行態勢である。]

- 8 また、“前 N 月”については、“今年”や“X 年”などの限定を伴い「一年の初めの N ヶ月」という意味で用いられることも多い。

去年，无锡市中院受理了 200 多件各类知识产权案件，今年前三个月此类案件已接近 100 件。

出典：＜人民网＞

[去年、無錫市の中級裁判所は 200 件余りの知的所有権に関する案件を受理しているが、今年最初の三ヶ月でこの種の案件はすでに 100 件近くこの

ぼっている。]

- 9 まず、③の“前两天”[二、三日前]に対して、“\*后两天”という表現は用いられない。また、②の“前N个月”「ここNヶ月」のような表現については、“后N个月”ではなく、通常“今后”などの表現が用いられることが多い。

### 主要参考文献

- 相原茂 1991. 「“前两天”は言えても、“前四天”はダメ……?」, 『中国語学習 Q&A101』, 大修館書店 (2003), 82-85 頁。
- 金子倫子 2004. 「上下・前後・左右一身体の方向性とその意味拡張をめぐる一考察一」, 『日本認知言語学会論文集』第4巻, 370-379 頁。
- 高橋弥守彦 1993. 「時間語について」, 『大東文化大学紀要』第31号, 397-415 頁。
- 刘顺 2003. 《现代汉语名词的多视角研究》, 学林出版社。
- 吕叔湘主编 1980. 《现代汉语八百词 (增订本)》, 商务印书馆 (1999)。
- 张黎 1988. 〈谈表时的“前”和“后”〉, 《汉语学习》第2期, 23-25 頁。
- 张敏 1998. 《认知语言学与汉语名词短语》, 中国社会科学出版社。
- Clark, Herbert H. 1973. Space, Time, Semantics, and the Child, *Cognitive Development and the Acquisition of Language*, New York; Academic Press, 27-63.
- Jespersen, Otto. 1933. *Essentials of English Grammar*, London; George Allen & Unwin Ltd. (邦訳: 1962年、中島文雄訳『エッセンシャル英文法』千城書房)